

会

派

の

意

見



文責は各会派にあります

日本共産党

コロナの影響から市民を守る市政を

新型コロナウイルスが拡がる中で
の議会で、市長に2度の申し入れも
行い、切実な声を届けました。

最も身近な自治体である市は今、
国の動きを待つだけではなく、積極
的に市民の声を聴き、それに応える
施策を実行し、国をも動かしてい
くことが求められています。

「災害など困ったときに真っ先に
助けてくれる」そんな市でこそ、私
たちは「長岡京市」という存在を意

識し、誇りに思い、「地域を支えよう」
という思いにもつながります。

その観点で、感染予防のチラシ全
戸配布や、事業者や医療・福祉の状
況把握と支援、孤立する家庭や高齢
者・障がい者の支援、子どもの権利
の最大限の尊重などを求めました。

新年度予算は、下水道が2割値上
げ。それで市の財源は数億円増えま
すが、市民生活を直接温める新事業
は殆どなく、新庁舎建設には総額1
08億円も使います。「市民負担増で
大型開発する予算だ」と批判、反対
しました。一方で「道の駅」は、市
民の声が「断念」に追い込みました。

輝(かがやき)

会派『輝』は、令和2年度長岡京
市一般・特別・上下水道事業会計予
算について、多数の意見と要望を述
べて賛成を致しました。この予算で
は新型コロナウイルス感染症につい
て、対応していない予算となってい
るため、必要に応じて補正予算や専
決処分等の迅速な対応を行なう事を
改めて要望致しました。

新年度は第4次総合計画第1期基
本計画及び後期実施計画の最終年度
であり、大河ドラマ関連事業や阪急

長岡天神駅周辺整備事業、新庁舎建
設の着手、共生型福祉施設構想の推
進等、様々な事業が『形』となって
現れる年度です。待機児童は、昨年
度より半減し、空き枠も生じてきて
います。また、下水道料金の値上げ
等、本市の状況は『転換期』に差し
掛かっていると言えます。

そのような中、私達は真摯に予算
と向き合い、真剣に議論しました。
将来の世代にツケを回さないように
『市民』を第一に考え今後も取り組
んで参ります。

進藤裕之 大伴雅章 綿谷正己
宮小路康文 富田達也

平成市民クラブ

令和二年度予算は、国補助活用分
を含め総額二百九十億円規模で可決
しました。十月からの上下水道料金
引上げなど各条例改正案を可決し、
熱中症予防対策などに関する請願書
三件を採択しました。また、新型コ
ロナウイルスの感染拡大防止に関す
る特別委員会を新設しました。

新庁舎建設に関する事業費や工事
発注などについて、また、都市構造
再編集支援事業について質し、十
分な説明を求めました。

防災減災対策で、要配慮者や自主
防災会の現状と今後のあり方につ
いて質し、災害ボランティアセンタ
ーの役割など有益な回答を得ました。
教育環境の充実に関しては、学校

ICT環境整備として普通教室無線
LANや小中学校施設の整備につ
いて要望をし、施設整備基本構想を策
定するとの回答をいただきました。

新型コロナウイルス感染症が一日
も早く終息し、市民生活と地域経済
が回復することを願います。一人ひ
とりが密閉・密集・密接を避け、健
康管理に十分注意して下さい。

三木常照・中小路貴司・寺嶋智美

平成西山クラブ

今議会は、開会当初より新型コロナウイルス対策と並行しての議会でありましたが、本市では、いち早く対策本部を立ち上げ、関係機関と情報共有するとともに、医療機関と連携し、全力で取り組んでいただいております。令和2年度予算は、必要とされる施策への確に財源が配分されていることを確認し、会派の見解を示しながら、総額281億4700万円の予算に賛成しました。

また、今回の庁舎建設基金の条例

改正では、基金を地方債の償還にも活用できることにすることで、財政運営の弾力性を確保し、毎年度の一般財源の負担を軽減しつつ、後年度の負担にも耐えられる見通しを立てられたことなど、市長をはじめとする市職員の、財政の健全化に臨む姿勢を評価するところであります。

これからも、市民が安心して生活を送れるように、医療体制の充実、感染拡大の防止、広報の強化徹底の取り組みや、経済活動への影響を最小限に抑える更なる取り組みを推進していただくよう要望しました。

上村真造 白石多津子 田村直義

公明党

第4次総合計画第1期基本計画後期実施計画の最終年度である令和2年度予算は、過去最高を更新する281億4700万円となりました。

幼保無償化の通年実施に必要な事業費や、子どもを産み育てる事への支援として、妊婦検診の公費助成を多胎妊婦については20回へ拡充され、「子育て支援医療費助成事業」も通年実施されます。小中学校のトイレ改修や、小中学校へ校内LANを整備し、ICTなどによる教育環境の

充実、安心安全なまちづくりとして、防災・浸水対策や都市公園の再整備などの施策が盛り込まれました。また、公明党として中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書を提案させて頂き、全会一致で可決されました。

世界中で拡大の一途をたどる新型コロナウイルスは、私たちの生活を一変させようとしています。何よりも大切なことは命を守る対策です。私たちは公明党のネットワークを活かし、いただいたお声を国へと届け、施策に機敏に反映する取り組みを行うて参ります。 福島・山本・石井

平成自由クラブ

令和2年度一般会計予算をはじめ、全ての議案を可決しました。

今議会、安心・安全・安定を念頭に審議を深めて参りました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や日常生活の安定、自然災害の防災・減災対策を求めて参りました。防災拠点を整えた新庁舎の1期建設着手や学校の建替・施設整備、トイレ改修や避難所機能の充実。全小中学校の給食や無線LAN整備、待機児童対策や中学生通院月額負担上

限額200円など子育て支援策。

医療・福祉・介護分野の健康と暮らしの充実、済生会京都府病院移設、見守りや地域福祉の充実、健康長寿プラン2025の推進。

大河ドラマ「麒麟がくる」推進、文化財保存活用や生涯学習、スポーツ振興。中心市街地整備、街路・通路の安心・安全な事業整備。

私達は、今後も足元を見つめ、時代の要請や地域課題の実情に応じ、皆様のお声を尊重し、共に行財政基盤の確立と健全化を注視し、事業推進と政策実現に邁進します。

八木 浩・富岡浩史・小野洋史

会派とは同じ意見や考えを持つ議員が集まってつくるグループのことです。ここでは3月定例会で審議された内容について、各会派の意見を紹介します。

